

「鳥獣被害対策の推進」の進捗状況

農山漁村振興課鳥獣対策室

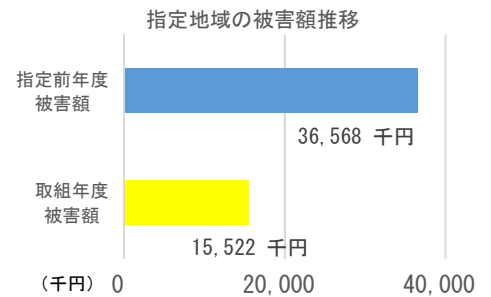
○令和4年度末の進捗状況

1. 被害ゼロに向けた取組

○R4年度県指定16地域で鳥獣被害の現状把握、指導を実施

→対策を実施した地域で被害額約58%減少

■被害額 36,568千円 → 15,522千円



2. 捕獲の担い手確保・捕獲体制の構築

○事前講習会13回、免許試験10回(県内8地域)実施

○合格者 263名

うち有害捕獲目的の合格者 200名

○新人ハンター205名を対象にわな架設研修会を実施



3. 捕獲個体のジビエ活用

○加工処理施設に対してアンケートを実施し、今後の事業目標や設備の拡充などの希望、課題などを調査

○有害捕獲個体のジビエ活用の状況を調査、加工処理施設でジビエ利用されている個体は18.7%(成獣個体割合66%、自家消費41.2%)

○県内全加工処理施設28施設のうち13施設が今後の規模、販路拡大を希望

○野生イノシシで豚熱の感染が拡大しているが、捕獲個体の処分が原因で有害捕獲が滞らないよう、意欲ある加工処理施設への施設整備を今後支援

■R4イノシシ有害捕獲個体の活用率

有害捕獲頭数(猟期外) R3 11,044頭 → R4 13,367頭

うち活用可能数 R3 4,286頭 → R4 5,187頭

処理加工施設処理頭数 R3 703頭(16.4%) → R4 971頭(18.7%)

4. 中国山地のニホンジカ対策

○市町村の捕獲体制整備を促すための重点捕獲事業を4市町で実施(飯南町、益田市、津和野町、吉賀町)

○浜田市～雲南市にかけて110造林地のシカの食害調査(スギ、ヒノキ)を実施

○低密度生息環境下での効率的な捕獲方法の開発を継続

■捕獲頭数

R4実績 885頭

R3実績 796頭

R2実績 491頭

